千倉地区複合施設について

（旧忽戸小学校跡地）

　１枚目上部のイラストは、国道からの進入路から見たエントランス周辺の外観イメージ図です。

　　施設の西側にコミュニティセンター、東側に図書館を配置し、地域のランドマークとして、窓明かりが見えるなど地域に開かれた施設を目指します。

コミュニティセンター部分の屋根には、太陽光パネルを設置し、災害時は専用のコンセントより電源の供給が可能です。

屋根の中央に突起状に見える物は、ロビーに設置する薪ストーブの煙突です。

２枚目は施設の配置図です。敷地北側に建物を配置し、道路からの視認性が良く、はじめての利用者にもわかりやすい配置としています。

３枚目は施設の平面図です。薄い緑色の部分がコミュニティセンターです。

大ホールは、音響や照明など多機能な設備を備え、映画の上映会や音楽イベント、講演会、地域集会など多目的な利用を想定しており、遮音性にも配慮した構造となっています。ステージ横の中会議室は、ステージの袖に入口を設け楽屋として活用することができます。他にも和室が２室、小会議室が４室、ボードゲームやカードゲームの利用ができるプレイルーム、調理室があります。小会議室３室と調理室には、移動式間仕切壁があり、用途に応じて大きな空間として利用することが可能です。

薄い黄色の部分が図書館です。

図書館は利用目的ごとにゾーニングし、明るく居心地の良い開放的な図書空間としています。児童書や絵本コーナー、こどもスタジオなどをロビー側に集約し、こどもスタジオは読み聞かせに配慮した整備を行います。奥に進むにつれ大人のエリアとすることで、こどもエリアと距離を取り、北側の壁にカウンター式の閲覧スペースを設けています。

薄い紫色の部分が共用部です。

ロビーは、様々な企画イベントや、移動式展示パネルを使った市民の方々のギャラリー空間として活用でき、交流を生み出す場所となり、各種の集会や催し物に利用できます。